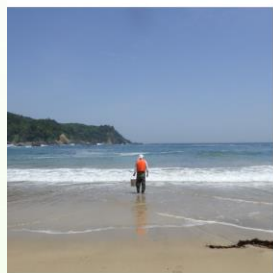
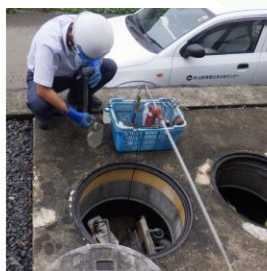


2023年度 環境経営レポート



一般財団法人
山形県理化学分析センター

1. 環境経営方針・・・2
2. 組織の概要・・・3
3. 事業内容・・・4
4. 環境経営目標・・・5
5. 環境経営計画・・・6
6. 環境経営目標および環境経営計画の実績・・・7
7. 環境関連法規等の順守および評価、訴訟などの有無・・・14
8. 全体の評価と見直し・・・14



環 境 経 営 方 針

一般財団法人山形県理化学分析センターは、直面している環境のリスクを真摯に受け止め、その変化を的確にとらえて、人間をはじめとするあらゆる生物が、より安全で快適に生存できるように活動いたします。そのために、当センターの生業である環境調査、各種分析、各種検査、管理・監視業務などを通して地球環境の向上に貢献するとともに、業務に起因する環境負荷を削減するために下記について継続的に努力いたします。

活 動 方 針

1. 環境関連法規を順守します。
2. 資源の使用状況を監視し、最少となるように工夫します。
3. 業務の効率化を図り、時間の削減を行います。
4. 環境負荷の少ない資材や機器の調達を行います。
5. 多くの人々に環境教育などを通じて環境についての理解を求めるとともに、積極的に環境改善活動などに参加します。
6. 役職員全員で環境経営マネジメントシステムの理解を深め、これに取り組めます。

制 定 平成18年12月 8日

改 訂 平成31年 4月 1日

一般財団法人山形県理化学分析センター

理 事 長 大 泉 茂

2. 組織概要

(1) 事業所名及び代表者名

一般財団法人山形県理化学分析センター
理事長 大泉 茂

(2) 所在地

山形 〒990-2473 山形県山形市松栄一丁目6番68号
仙台 〒982-0003 宮城県仙台市太白区郡山字谷地田東14番19号

(3) 設立年月日

昭和47年3月28日（一般財団法人登記 平成22年6月18日）

(4) 環境管理責任者

総務グループ 松本 義文 TEL023-645-5308

(5) 設立趣意

県衛生研究所はじめ県立山形工業試験場等公的機関でのみ行っていた各種公害の調査分析を補完するとともに、生活環境の汚染に係るより精密な分析能力を培い、さらに各種講習会等を開催して公害防止技術の習得及び公害防止意識の啓蒙を図り、もって公害の防止に資するため。

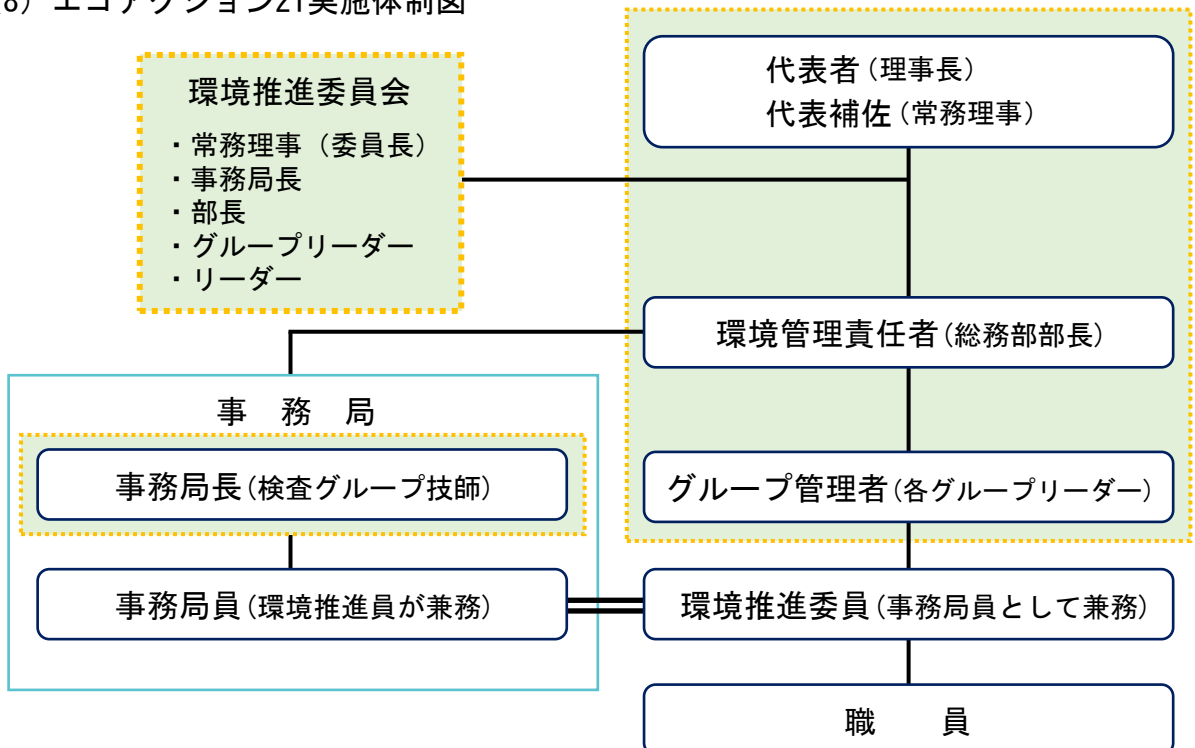
(6) 事業規模（2024年3月31日現在）

基本財産 1億5,296万円
役職員数 54名（内、派遣2名）

(7) 対象範囲

全組織における環境、衛生、医薬品の検査・分析及び調査業務

(8) エコアクション21実施体制図



3. 事業内容

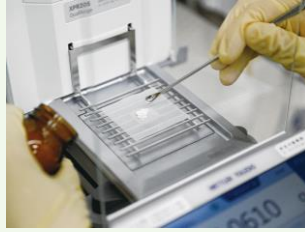
飲料水検査

上水道、簡易専用水道、ミネラルウォーター類、井戸水、プール水、浴槽水など各種法令に基づいた水質検査を行っています。



医薬品検査

医薬品用の主/副原料の理化学試験、微生物試験、製剤の安定性試験、また高薬理活性物質の試験受け入れも行っていきます。



食品検査

輸入食品の製品検査、残留農薬検査、栄養成分、添加物の分析、異物検査などを行っています。



浄化槽検査

山形県内の浄化槽法定検査を行っています。



生活環境調査

大気質調査、騒音・振動・低周波測定、交通量調査、放射線量調査などをはじめとした調査を行っています。



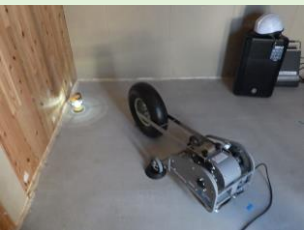
自然環境調査

動植物の調査や、生態系の上位に位置する猛禽類の調査も行っていきます。



住宅性能調査

住居における空気音遮断性能、床衝撃性能、室内静謐性能の測定、室内空気中化学物質の測定などを行っています。

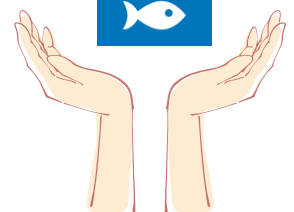


各種計量分析

河川、農業用水、工業用水などの水質分析、騒音・振動測定、悪臭の分析、作業環境測定などを行っています。



関連する主なSDGs



4. 環境経営目標

	活動項目	環境経営目標		目標項目	基準数値※1	単位	2023年度 目標	2024年度 目標	2025年度 目標	備考
		数値目標	活動目標							
1	電力使用量の維持	使用量を出来るだけ抑える	維持	電力の使用量	217,027	kWh	217,027	217,027	217,027	山形
					9,267	kWh	9,267	9,267	9,267	仙台
2	都市ガス・LPG使用量の低減	使用量を出来るだけ抑える	維持	都市ガス使用量	25,448	m ³	25,448	25,448	25,448	
				LPG使用量	10.56	kg	10.56	10.56	10.56	
3	ガソリン・軽油の使用量の維持	使用量を出来るだけ抑える	維持	ガソリンの使用量	19,353	L	19,353	19,353	19,353	
				軽油の使用量	5,655	L	5,655	5,655	5,655	
4	二酸化炭素排出量の維持	—	維持	二酸化炭素排出量	233,861※2	kg-CO ₂	233,861	233,861	233,861	
5	上水道使用量の維持	使用量を出来るだけ抑える	維持	上水道の使用量	1,749	m ³	1,749	1,749	1,749	
6	一般廃棄物排出量の削減	リサイクル率を毎年82%以上とする	リサイクル率の向上	一般廃棄物の排出量	80.3	%	リサイクル率82%以上	リサイクル率82%以上	リサイクル率82%以上	
7	産業廃棄物排出量の削減	リサイクル率を毎年60%以上とする	リサイクル率の向上	産業廃棄物の排出量	58.0	%	リサイクル率60%以上	リサイクル率60%以上	リサイクル率60%以上	
8	環境保全活動の推進および5S運動の実施	年間1,800ポイント以上獲得する	各個人ポイント増加	全職員が積極的に環境保全活動・5S活動に取り組む（ポイント獲得制）	—	—	1,800ポイント以上	1,800ポイント以上	1,800ポイント以上	
9	浄化槽法定検査実施率の維持	実施率の向上に努める年間申込数の完全消化（積み残し0）	浄化槽法定検査実施率の維持	浄化槽法定検査の年間検査実施率を向上させる	70.3	%	70%以上	70%以上	70%以上	
10	化学物質の適正な管理	上位5品目の使用量が1,000kg以下であることを監視する	PR-TR制度対象物質の監視	対象物質使用量の継続的監視	継続的監視1,000kg以下	—	1,000kg以下	1,000kg以下	1,000kg以下	
11	環境教育の実施	毎年12回以上環境教育を実施する	環境教育の実施	学校及び市民団体などを対象に、環境教育を実施する	12	回	12回実施	12回実施	12回実施	

※1. 2022年度（令和4年度）実績値を基準年度とする

※2. 電力の二酸化炭素排出数計は、0.457kg-CO₂/kWh（東北電力 2022年度）、0.527kg-CO₂/kWh（オリックス 2022年度）を使用

5. 環境経営計画

2023/4/3

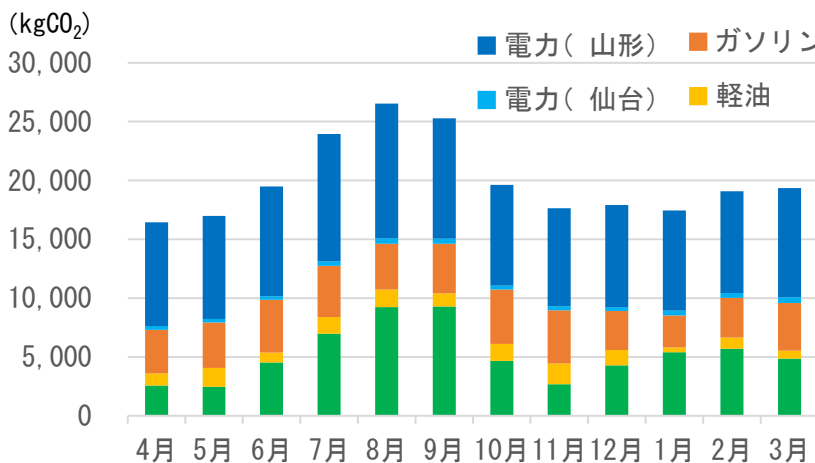
環境経営方針	活動項目	環境経営目的 (数値目的)	環境経営目標 活動の目標	目標達成手法(項目・方法)	関係グループ (責任者)	責任区分・日程等												記入担当者 その他		
						4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		4	
1 省エネルギー	電力使用量の維持	使用量を出来るだけ抑える	維持	電気エアコンの適切な温度管理	全グループ (環境推進員)														環境推進員 総務部長 総務G 機器担当者 機器担当者 総務部長 環境推進員 総務G 環境推進員 総務G 環境推進員	
				分析機器の導入・廃棄	分析機器等の導入検討	全グループ (理事長)														
				分析機器の新規導入	分析機器の新規導入	全グループ (総務部長)	フリーユエ交換赤外分光光度計・高速液体クロマトグラフ・器具乾燥器・自動分液装置・インキュベーター													
				電力消費が増大	分析機器の更新・廃棄 電力消費の低減・維持	全グループ (総務部長)	溶出試験器・ガスクロマトグラフ・遠心分離機・粉砕機・薬品保管用冷凍冷蔵庫													
				分析機器の廃棄	廃棄物の増加・フロン使用機器の廃棄	全グループ (機器担当者)	薬品保管用冷凍冷蔵庫													
				分析機器の廃棄	分析機器の廃棄 その他法令遵守機器類	全グループ (機器担当者)	ガスクロマトグラフEDC検出器													
				電力購入会社の見直し	費用の圧縮 二酸化炭素排出係数の低減	全グループ (総務部長)	電力会社の検討 本部電力会社変更													
2 省エネルギー	都市ガス・LPG使用量の低減	使用量を出来るだけ抑える	維持	エアコンの適切な温度管理	全グループ (環境推進員)													環境推進員 総務G 総務G		
				冷蔵庫切り替え前の掃除	各実験室担当部署で実施	全グループ (総務G)	エアコン掃除													
				GHPの定期管理	GHP台点検・整備	全グループ (総務G)	GHP定期点検 不具合修理													
3 省エネルギー	ガソリン・軽油使用量の維持	使用量を出来るだけ抑える	維持	エコドライブの推進	全グループ (環境推進員)													環境推進員 総務G 環境推進員		
				車両増車・入替	車両入替	全グループ (環境推進員)	本部軽ワゴン1台入替													
				車両増車(環境負荷増)	車両増車(環境負荷増)	全グループ (環境推進員)	環境調査に軽バ1台増車													
4 省エネルギー	二酸化炭素排出量の維持	-	維持	毎月の集計及び四半期ごとの監視報告	全グループ (環境推進員)													総務G 総務G		
				毎月の集計を部長リーダー会議で報告	目標との比較 不適合となる予測の有無	全グループ (環境推進員)	電力使用量、都市ガス、LPG使用量、ガソリン、軽油使用量の集計 四半期報告 毎月報告													
5 省資源	水道使用量の維持	使用量を出来るだけ抑える	維持	毎月の集計及び四半期ごとの監視報告	全グループ (環境推進員)													環境推進員 環境推進員 総務G		
				洗浄水、リンス水等の適量使用	検査・医薬品 (検査部長)	検査・医薬品 (総務G)	メーター検量													
6 省資源	一般廃棄物排出量の削減	リサイクル率を毎年82%以上とする	リサイクル率の維持向上	分類の徹底(排出量の全量把握)	全グループ (環境推進員)													環境推進員 総務G 環境推進員		
				収集運搬/処分業者契約確認	四半期毎許可期間を確認	全グループ (総務G)	契約書確認													
7 省資源	産業廃棄物排出量の削減	リサイクル率を毎年60%以上とする	リサイクル率の維持向上	分類の徹底(排出量の全量把握)	全グループ (環境推進員)													環境推進員 機器担当者 機器担当者 環境推進員 総務G 環境推進員		
				法令遵守	分析機器の廃棄 廃棄物の増加・フロン使用機器の廃棄	全グループ (機器担当者)	薬品保管用冷凍冷蔵庫													
				分析機器の廃棄	分析機器の廃棄 その他法令遵守機器類	全グループ (機器担当者)	ガスクロマトグラフEDC検出器													
				試薬ビン回収業者の検索	業者間で回収の打ち切りを検討している	検査・医薬品 (環境推進員)	排出量の監視													
8 環境保全活動	環境保全活動の推進及びS5運動の実施	年間1800ポイント以上獲得する	各個人のポイント増加	S5運動の実施	全グループ (環境推進員)													環境推進員 環境推進員 調査G 総務G		
				エコポイントの獲得(レベル1)	功平化・整理整頓・清掃活動した人への褒賞	全グループ (環境推進員)	毎集計													
				エコポイントの獲得(レベル2)	良い地球環境課連への参加 E-TECボランティア活動への参加 環境セミナー・ボランティアへの参加 業務として行っているボランティア活動	全グループ (調査G)	〇 〇 〇 〇													
9 環境保全活動	浄化槽法定検査実施率の維持	実施率の向上に努める 年間申し込み数の完全消化(積み残し)	浄化槽法定検査実施率の維持	検査基数の把握	法定検査G (法定検査G)													法定検査G 法定検査G 法定検査G 環境管理責任者 環境管理責任者		
				未受検者の取りこし	未受検者案内の発送	法定検査G (法定検査G)	山形県・担当エリア市町と協力し案内を発送													
				申込数の完全消化	未実施基数の把握	法定検査G (法定検査G)	年度末に向けて未実施基数の把握及び越年基数なしを目指す													
10 環境保全活動	化学物質の適正な管理	上位5品目の使用量が1,000kg以下であることを監視する	PR-TR制度対象物質の監視	PR-TR制度対象物質の購入量の把握	検査・医薬品 (検査部長)												環境管理責任者 環境管理責任者			
				使用量の多い種類の化学物質について監視を続ける	アセトニトリル・ヘキサン・クロロホルム N,N-ジメチルホルムアミド・トルエン	検査・医薬品 (検査部長)	毎月集計													
11 環境教育	環境教育の実施	毎年12回以上環境教育を実施する	環境教育の実施	学校及び市民団体等を対象	講師担当者 (調査部長)													-		
				・学術発表 ・業界団体での講演 ・講習会への講師派遣	植物園取捨者関係講習 醸造欠乏・酸化水素危険作業主任者講習 浄化槽関係研修会 その他	講師担当者 法定検査G 全グループ	1 4 1 2 1													

6. 環境経営目標および環境経営計画の実績

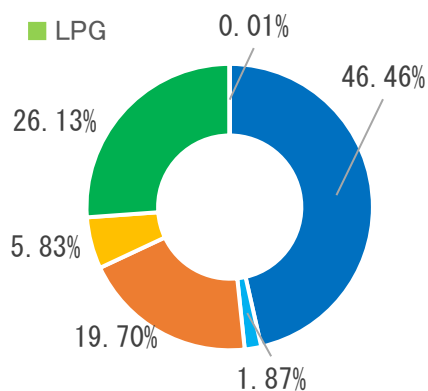
■ 二酸化炭素排出量

活動目標	目標値	実績値	達成状況	評価
二酸化炭素排出量の低減	233,861 kgCO ₂	239,755 kgCO ₂	2.5%超過	未達成

※電力の二酸化炭素排出係数は、0.457kg-CO₂/kWh(東北電力 2022年度)、0.527kg-CO₂/kWh(オリックス 2022年度)を使用



2023年度 二酸化炭素排出量の変化

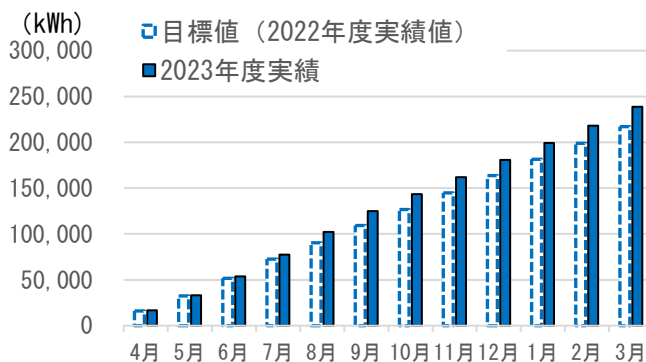


2023年度 二酸化炭素排出量の内訳

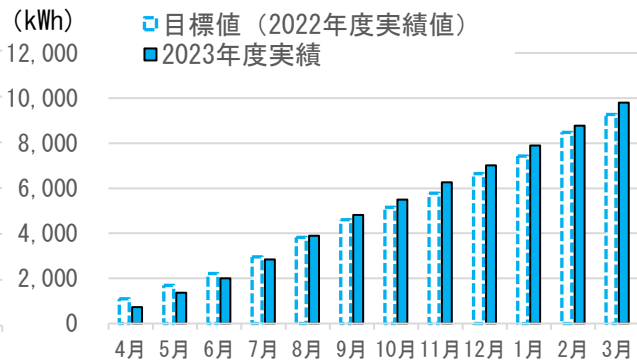
目標に対し約2.5%超過していた。要因としては猛暑による冷暖房の使用により、電力使用量および都市ガス使用量の大幅な増加と考えられる。二酸化炭素排出量削減の対策として、各分析機器類の稼働状況と消費電力を見える化し、効率的な運用を行うこと、効率の落ちている機械類の入替、また業務車両としてハイブリッド車(4WD)の導入なども一案として考える。

■ 電力

活動目標		目標値	実績値	達成状況	評価
電力使用量の維持	本部	217,027 kWh	238,627 kWh	10.0%超過	未達成
	調査室	9,267kWh	9,802 kWh	5.8%超過	未達成



2023年度電気使用量の累積変化(山形本部)

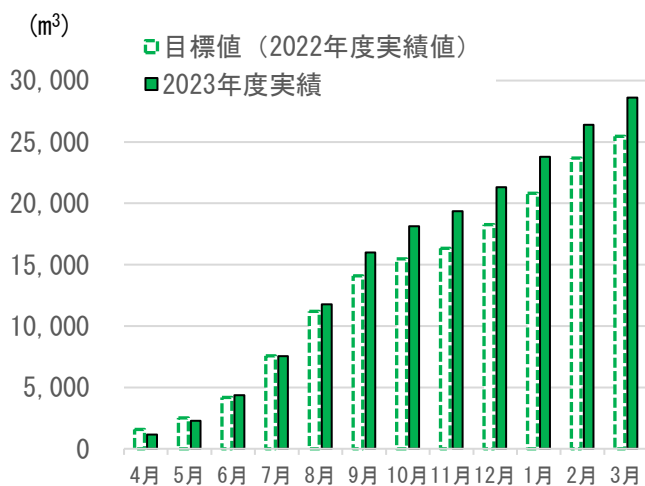


2023年度電気使用量の累積変化(仙台調査室)

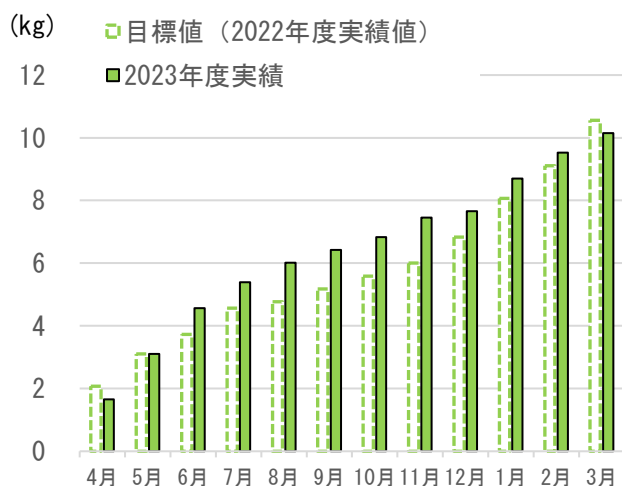
社会活動が新型コロナウイルス感染症拡大の影響からの脱却に向かっており、それに伴った屋外での事業活動が活発化してきている。そのため、事務所内で使用する電力量はコロナ前に戻りつつあると考えられる。しかしながら、電力料金は光熱水量費の約半分を占め、昨今の電力料金の急激な値上げにより経営を圧迫する要因にもなる。二酸化炭素排出量にも配慮しつつ、電力会社の変更等を検討する必要がある。

ガス

活動目標	区分	目標値	実績値	達成状況	評価
ガス使用量の低減	都市ガス	25,607 m ³	28,607 m ³	12.4%超過	未達成
	LPG	10.56 kg	10.14 kg	96.1%	達成



2023年度ガス(都市ガス)使用量の累積変化

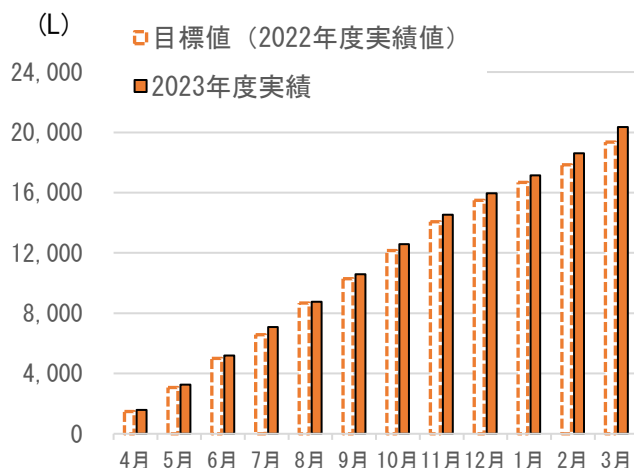


2023年度ガス(LPG)使用量の累積変化

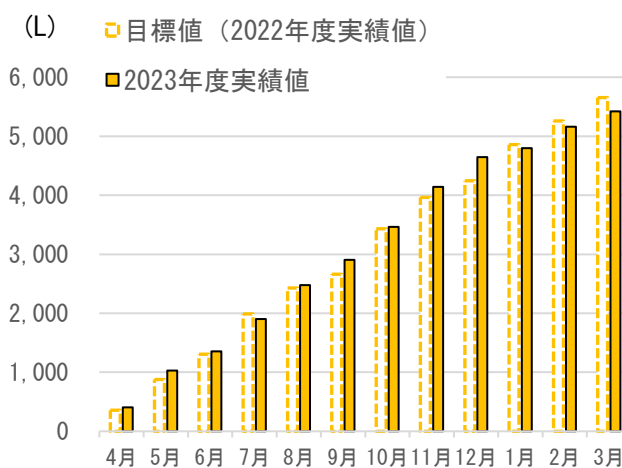
都市ガスは、その約90%以上がガスヒートポンプ (GHP) エアコンに使用されており、特に、2023年度は夏季の猛暑が影響している。GHPの老朽化が進んでおり、24時間空調管理する試験室には、補助金を活用しながら早急に電気エアコンの整備を進めたい。

ガソリン・軽油

活動目標	区分	目標値	実績値	達成状況	評価
ガソリン・軽油の使用量の維持	ガソリン	19,353 L	20,358 L	5.2%超過	未達成
	軽油	5,655 L	5,418 L	95.8%	達成



2023年度ガソリン使用量の累積変化

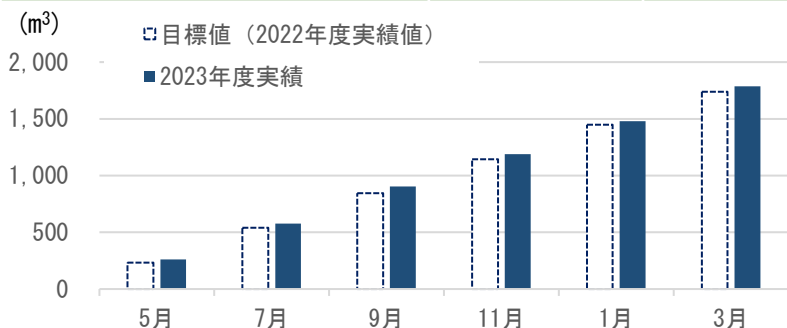


2023年度軽油使用量の累積変化

ガソリン使用量増加の要因としては、山形・宮城両県から離れた遠方での活動が増加しており、それに伴うガソリン使用量の増加が考えられる。一方、軽油は、主に調査室に在所するハイエース2台の燃料となるが、大気質調査用の機材運搬にレンタカーを利用しており、2023年度はその利用実績が少なかったことにより、使用量が減少しているものと考えられる。

上水道

活動目標	目標値	実績値	達成状況	評価
上水道使用量の低減	1,749 m ³	1,786 m ³	2.1%超過	未達成



2023年度水道使用量の累積変化

※1.) 水道使用量に関しては2か月に1回集計

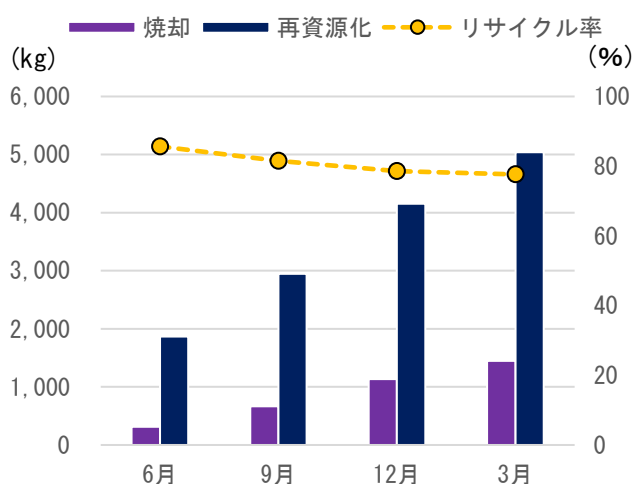
2022年度（令和4年度）を基準年度とし、使用水量の維持に努めた。目標に対し、約2.1%超過しており、目標を達成していない。引き続き節水に努めていきたい。

一般廃棄物物・産業廃棄物

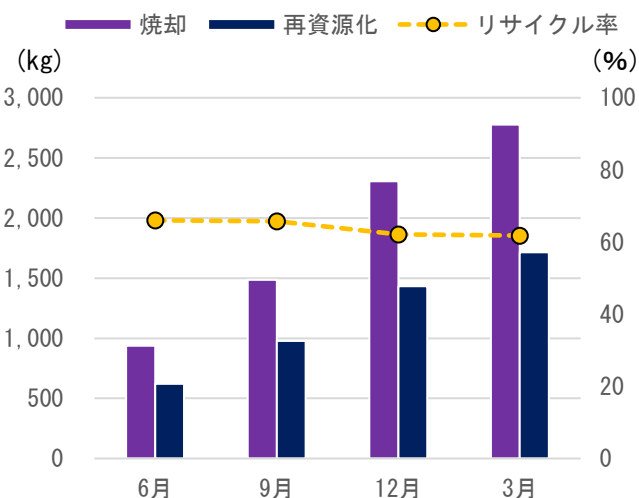
活動目標	目標値	実績値	達成状況	評価
一般廃棄物排出量の削減 (リサイクル率※2)の向上	82.0%	77.6%	—	未達成

活動目標	目標値	実績値	達成状況	評価
産業廃棄物排出量の削減 (リサイクル率※2)の向上	60.0%	61.8%	—	達成

※2) リサイクル率(再資源化量) / (総排出量)



2023年度一般廃棄物排出量の累積変化



2023年度産業廃棄物排出量の累積変化

※3) 一般廃棄物および産業廃棄物に関しては四半期ごとに集計

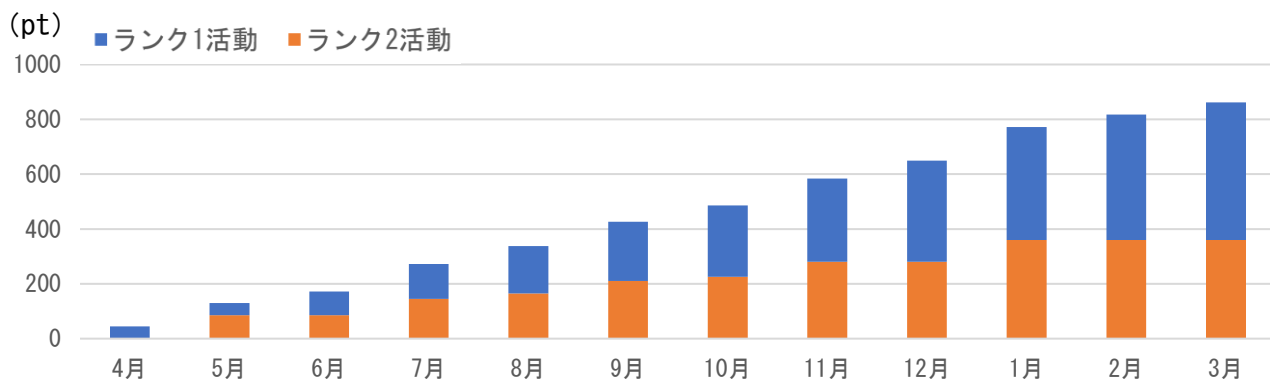
一般廃棄物に関しては、目標の達成には至らなかった。その要因として、輸入食品検査の減少に伴い廃棄物量も減ったため、リサイクル率も低下したものと思われる。産業廃棄物に関しては、試薬ビンの回収量がリサイクル率を押し上げることとなった。しかし試薬ビンの回収リサイクルが行われなくなる可能性が高くなって来ており、新たな処分方法を模索しなければならない。

環境保全活動の推進及び5S運動の実施

活動目標	目標値	実績値	達成状況	評価
全職員が積極的に環境保全活動・5S活動に取り組む (ポイント獲得制)	1,800 pt 以上	-	-	-

活動のランクと獲得ポイント(pt)および活動例

ランク	ポイント	活動例
ランク1	3	<ul style="list-style-type: none"> 自分の使用している以外のごみ箱をきれいにしていた 当番ではないのに自ら進んで廊下などの共有部分の掃除をしていた 分別が不十分のゴミを再仕分けしていた フラットファイル等を再利用して使っていた
ランク2	5	<ul style="list-style-type: none"> 美しい地球環境講座、社外研修、ボランティア活動への参加 ※業務として行っている活動（清掃への参加命令等）は除く
投票	1	<ul style="list-style-type: none"> ランク1およびランク2の活動を実施した人を投票した



活動のランクと獲得ポイントの推移(投票ポイントも含む)



エコポイント活動投票BOX



美しい地球環境講座の様子

ポイント制度は、職員同士がお互いの環境活動・5S活動に対し評価し合うものであり、作業の効率化だけでなく、社員のモチベーションの向上にも繋がるものと考え実施を進めている。ポイントは、活動ごとにランク分けをし、「ランク1活動」は、社内における環境目標に対する活動や5S活動とし、「ランク2活動」は、社外のボランティア活動への参加や環境セミナーへの参加とした。ポイントの付与は、「ランク1活動」では、『活動した人』に3ポイント、『活動を投票した人』に1ポイント、「ランク2活動」は、『活動した人』に5ポイントを付与することとした。

浄化槽法定検査

活動目標	目標値	実績値	達成状況	評価
浄化槽法定検査実施率の維持	70%以上 (22,154基)	71.2% (15,784基)	-	達成

2023年度の浄化槽法定検査実施率は、71.25%と目標の達成している。当センターが割り当てられている市町村では、浄化槽の設置基数が下水道等への接続、使用者の転居等により、毎年150～200基程度減少している。

化学物質

活動目標	目標値	実績値	達成状況	評価
化学物質の適正な管理 (PR-TR制度対象物質の使用量)	継続的監視 1,000 kg以下	55.38kg	-	達成

当センターで監視対象としている特定化学物質は、いずれもPRTR制度における届出の対象外であった。今年度の法改正により、「アセトニトリル」が対象物質から外れたため、「ノルマルヘキサン」が当センターの最大の排出量となり、年間で55.38kg使用している

環境教育

活動目標	目標値	実績値	達成状況	評価
環境教育の実施	10回実施	14回	-	達成



毒物劇物取扱者関係講習講師派遣



美しい地球環境講座告知ポスター
(NPO法人環境生態工学研究所様作成)

毒物劇物取扱者関係講習、酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者講習などの講師を派遣しております。またNPO法人環境生態工学研究所様と共同主催で「美しい地球環境講座」をオンラインで定期的開催しております。学識経験者の方を講師としてお招きし、当職員だけでなく、外部にも環境教育の場を提供しております。

■ 環境教育（活動実績詳細）

講師派遣

実施日	名称	場所
5月26日	酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者講習 （山形県労働基準協会連合会）	山形ビッグウイング
6月7日、9日	山形県立霞城学園 環境学習会	霞城セントラル
7月4日	宮城県松島高等学校 松島フォーラム	宮城県松島高等学校
8月1日～2日	毒物劇物取扱者講習（農林大学校）	山形県立農林大学校
8月7日、9日～10日	毒物劇物取扱者試験準備講習（山形県薬剤師会）	山形県産業創造支援センター
8月17日	毒物劇物取扱者試験準備講習-庄内-（JA全農）	庄内JAビル
8月22日	毒物劇物取扱者試験準備講習-内陸-（JA全農）	協同の杜JA研修所
8月31日	酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者講習（山形県労働 基準協会連合会）	山形ビッグウイング
9月5日、13日	山形県浄化槽管理士研修会	山形県産業創造支援センター
9月22日	酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者講習（山形県労働 基準協会連合会）	山形ビッグウイング
9月26日	「浄化槽の日」研修会	山形県産業創造支援センター
11月17日	第26回技術研修会	アキタパークホテル
1月16日	宮城県松島高校 令和5年度観光実践発表会	松島町文化観光交流館
2月17日	酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者講習（山形県労働 基準協会連合会）	山形ビッグウイング

美しい地球環境講座

実施日	名称	場所	参加数※4
第7回（5/21）	原田 正光（福島工業高等専門学校都市システム工学科特任教授）	どうする除染土壌	31名（11名）
第8回（7/23）	林 紀男（千葉県立中央博物館上席研究員）	侵略的外来水生植物が及ぼす水環境への多面的影響	71名（12名）
第9回（9/17）	吉田 敏明（東北大学大学院環境科学研究科教授）	これからのプラスチックとの付き合い方	30名（9名）
第10回（11/19）	高橋 清孝（NPO法人シナイモツゴ郷の会）	条件付き特定外来種に指定されたアメリカザリガニ、生態系に及ぼす影響と対策	29名（11名）
第11回（1/21）	柴田 洋雄（美しい山形・最上川フォーラム会長）	元気な山形づくりを目指して	27名（16名）

※4）参加者数（カッコ）内は、当センター職員の参加者数

■ 社外での活動一部紹介

○ 環境NPOとの共同活動、環境ボランティアへの参加



松島湾藻場再生活動(展示生物の説明)



松島パークフェスティバル(イベント準備)

NPO法人環境生態工学研究所 (E-TEC) が実施している「松島湾藻場再生活動イベント」に昨年度に引き続き、スタッフとして参加いたしました。東日本大震災で消失したアマモ場の再生を目指す活動の1つです。また「松島パークフェスティバル2023」のボランティアスタッフとしてはじめて参加いたしました。スタッフの多くは地元観光関係者や大手企業の若手社員が多く、E-TECの活動と同時に当センターの名前をさせていただき新たなネットワークを築くことができました。

○ TV番組への撮影協力 (映像提供)



干潟生物の撮影協力



「うみのチカラ未来へつなぐブルーカーボン」の映像※5

これまでにE-TECで実施してきた松島湾での活動が各所に広がり、様々な協力依頼を求められるようになりました。今年度は宮城テレビの「OHバンドス」のコーナー「うみのチカラ未来へつなぐブルーカーボン」内にて、松島湾（宮城県）や宮城県沿岸での生物調査の様子や生き物の撮影協力、映像提供などを行いました。センターが関与できる新しい分野の開発に繋がるものと考えます。

※5) 引用元は下記URLよりご覧いただけます。

Youtube【うみのチカラ】松島・海のゆりかごが 育む生物たち【バンドス】
(<https://www.youtube.com/watch?v=iCRuwRooTCI>)

Youtube【うみのチカラ】海の環境・生態系を紐解く 密着！宮城でイルカ調査【バンドス】
(<https://www.youtube.com/watch?v=skeWbXqSuJQ&t=32s>)

7. 環境関連法規等の順守および評価、訴訟等の有無

■ 適用となる 環境関連法規等とその遵守状況

○ 水質汚濁防止法、下水道法

水質を守る事のお手伝いが本業です。当センターから排出される、下水道排水や有害排水処理水を毎月定期的に測定し、監視しております。

○ 大気汚染防止法、悪臭防止法

試験検査室のドラフトチャンバー等は、スクラバを使用し、適正な管理運用をしております。スクラバ排水も定期的に測定を行って確認しております。

○ 毒物劇物取締法、化学物質排出把握管理促進法

毒劇物の購入量及び使用量を把握し、管理を行っています。使用量が最も多い化学物質についても届出を要する排出量を下回っていることを確認しております。

○ 消防法

危険物の貯蔵量に関しては、消防法上の指定数量を下回っていることを確認しております。

○ 放射性同位元素等障害防止法

放射性同位元素についても密封線源になりますが適正に管理しております。

○ 廃棄物の処理及び清掃に関する法律

ごみ減量化、再資源化に取組み、マニフェストの管理状況等も含め適切な管理を行っております。

■ 法令違反 ・ 訴訟等の有無

これら環境関連法規への違反事例、訴訟等は環境経営マネジメントシステムを導入以降ありません。当センターでは環境経営活動を行うにあたり、該当する環境関連法規ごとに規程と手順書を整備し、自主管理を適正に行っております。

8. 全体の評価と見直し

■ 運営管理者のコメント

- ① 役職員個々の環境意識の向上をお願いしたい。
- ② センター内外の掃除のほか、周辺の清掃も考えてください。
- ③ 自動車の暖気運転は、必要最低限とし、二酸化炭素排出の削減に努めてください。
- ④ 積極的な環境改善対策への参加をお願いします。
- ⑤ 二酸化炭素排出量の中長期目標の妥当性を今一度見直ししてください。



対象期間 2023年4月1日～2024年3月31日

発行日 2024年12月31日

〒990-2473 山形県山形市松栄一丁目6番68号
HP <http://www.y-rikagaku.jp/>